

平成26年度

平成26年9月30日

学校だより



夢に近づけ 今、鴨居がいいかも！
横浜市立鴨居小学校



電話 045(931)2062

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamoi/>

元気をもらう

校長 大森 英司

恒例の「鴨居地区敬老慰安会」が本校の体育館で盛大に行われた。ご長寿の方々の元気な姿を拝見すると、こちらも元気になる。老人会や同好会の方々のカラオケや踊りは本当に生き生きしていて、楽しそうだった。そして、趣味があり、多くの仲間と過ごす時間があることが、元気の秘訣だろうと羨ましく思った。

アトラクションの鴨居芸能保存会による鴨居囃子には、太鼓と舞に鴨居小の6年生も5人参加して、大きな拍手を浴びた。

鴨居囃子は継承する人が不足していて、存続の危機だそうだ。そんな話を昨年の「地域課題を考える会」で聞いた。力になれる術は頭に浮かばなかったが、話題だけは学校に帰り職員に伝えた。

そして、今年度、6年生は鴨居小学校創立140周年にふさわしい活動として鴨居囃子を選んだ。総合的な学習の時間を使い、継続的に練習し、創立140周年の記念式典・祝賀会で披露するつもりだ。もちろん、その前に行われる音楽集会でも演じ、全校児童と保護者の方々にご覧いただく予定だ。

これから残り1か月の練習で仕上げることもたいへんだが、ここまでの道のりも苦労が多かった。何より日程の調整が難しかった。芸能保存会の方々は仕事を休まねばならず、6年生の練習に充てられる時間に合わせるために多大なご苦労をおかけした。

もう一つは、6年生全員を太鼓と舞で舞台に上げようというのが初めてのことで頭を痛めさせた。

しかし、芸能保存会の方々の情熱と子どもたちや6年職員の意欲でどうにか乗り切れそうである。子どもたちは初めて見学させていただいた時から、興味深そうに食い入るように見つめ、練習を待ちわびて楽しそうに進んで取り組んだ。

そして、何人かの児童は芸能保存会の方が中央会館で月2回行っている夜の練習会に参加し、めきめき腕をあげ、今回の敬老慰安会での発表に参加させていただくことになった。

11月1日の創立記念式・祝賀会での発表がうまくいくかどうかはわからない。また、鴨居囃子の継承というとても大きな課題が解決したわけでもない。しかし、今回の取り組みで子どもたちが地域の大人たちから大きな力をもらい、地域の大人たちも子どもたちから元気づけられたことは事実である。さらに、この取り組みが鴨居囃子の継承につながるきっかけになればと願う。